

産業廃棄物最終処分場対策特別委員会 委員長報告

(H24, 2, 7日開催)

産業廃棄物 最終処分場対策 特別委員会の報告を申し上げます。

当委員会は、付託を受けております、「産業廃棄物最終処分場問題の早期解決に向けた対策について」を審査するため、2月7日に、市長、副市長、環境経済部長及び関係職員の出席を求めて開催いたしました。

まず始めに、当局から今日までの経過について報告を受けました。

次に、県と周辺自治会との話し合いについて説明を受け、その後、委員からの質疑がありました。

主な内容として、

●モニタリングの分析結果が出るまでどれくらいかかるのか。また、モニタリングの結果地下水への影響があると判明した場合は工事を中断するのか。

との、質疑に、当局から、

分析項目によって結果が出る期間に違いがあり、約1ヶ月から1ヶ月半程度かかる。地下水への影響の恐れがある場合は工事を中断するなど、正式な結果報告を待たずに対応する予定。 との答弁がありました。

●周辺地下水のモニタリングについて、1回目が一次対策工が始まって1ヶ月後とのことだが、この1ヶ月の科学的根拠は？

との、質疑では、当局から、

モニタリング井戸の選定や入札等の事務手続で相応の期間が必要となる。資料内のスケジュール表は例年のモニタリング時期を掲載している。

との答弁がありました。

●資料の浸透水のコンタ図から流動方向を見ると、下流側の井戸の無いところにも水が集まりそうな場所があるが、ここに井戸を新しく設置しては、

との質疑に当局から、

その部分は沈砂池^{ちんさいけ}付近であると思われるが、今後、調査方法等を検討し対応するとしています。 との、答弁がありました。

委員から、資料は市民が分かり易いものにしてだしてもらいたい。市から県へ要請してもらいたいとの意見が出て、市から、市民の意向に沿うよう県へ要請します。 との答弁がありました。

●資料のKS・3の部分は以前と変わったとのことだが、どう変わったのか。 との、質疑に対し、当局から、

今回のボーリング調査等の結果から、KS・3層は処分場の周りを帯状に囲んでいることが新に判明したとのことです。 との、答弁がありました。

●今回提示された資料と、スケジュールにちがいが見受けられる。このことは住民の不安要因になるため、県に対する信頼関係を損なう。整合性のある正確な資料の提出を、県に対し意見として伝えていただきたい。 などの発言がありました。

●平成24年11月から二次調査が計画されているが、このスケジュールで3月の環境大臣の同意を得ることは、間に合うのか？ との質疑に当局から、

一次調査は平成23年1月から入っており、二次調査を経て詳細設計に入

るなど、平成24年3月末までの特措法の期限までは非常にタイトなスケジュールとなっている。県は、平成25年3月までに環境大臣の変更同意を得なければならず、複数の作業を平行していかないと間に合わない。

との答弁がありました。

●モニタリングすら1ヶ月半かかる状況の中で、ぎりぎりまで調査したものが詳細設計に生かされるのか疑問である。県はこのスケジュールで大臣同意に間に合うと考えているのか。 との質疑に、当局から、

このスケジュールは、現在県が考えている最新のもので、状況に応じてスケジュールは変化することであるが、整合性のあるスケジュールを出すよう、しっかり県に伝えていく。

との答弁がありました。

●二次対策工事の実施計画策定が詳細設計より後に予定されているが、順序として、これで良いのか？

との質疑に、当局から、

今回、特措法が延長されても、平成25年3月末までに環境大臣の同意を得なければ、国の補助が得られないと聞いている。遅くとも1月中に実施計画書を作成し提出しないと同意が得られない。そのためのスケジュールとなっている。次回の県市連絡協議会の中で、詳細なスケジュールを示すよう県に申し入れたい。

との答弁がありました。

●RDに関して市が今まで費やした経費はどれくらいか。またそれをRD社

に請求できるのか。 との質疑に当局から、

栗東市は平成23年度までで約1億6千万円の支出をしている。また、現在市が実施しているモニタリング調査等の費用は、年間300～400万円程度の支出がかかっている。RDの破産財団は僅かの金額となっている状況の中で、回収の手立ては困難な状況であると考えている。

との答弁がありました。

●平成24年度の栗東市のRD関連の予算は。

との質疑に、当局から、

処分場下流の9本の井戸のモニタリングは、対策の一環として県に実施するよう要請しております。経^{きようどういけ}堂池や三ツ池^{みついけ}および下流地下水調査は継続して本市で実施する予定です。 との答弁がありました。

環境大臣同意が得られるよう、協力していこうという姿勢が今まで以上に強くなってきている状況のなか、これからも、早期解決に向けて積極的に議論し審査をしていきたいと存じます。

以上、当委員会の審査結果報告とさせていただきます。

よろしく、ご審議のほどお願い申し上げます。